

酒田港を利用して物流コストを約1割削減！

酒田市内印刷会社が、新たにドイツから印刷機械をコンテナで輸入するにあたって酒田港を利用したことにより、物流コストを約1割削減しました。

今回の事例では、横浜港を利用した場合に比べ、陸上輸送距離を短縮できることから、物流コストを大幅に削減することができます。

こういった事例をきっかけとして、地域の産業を支える港である酒田港を、より多くの県内企業の方々に利用して頂くこととなれば幸いです。



印刷機械を積んできたコンテナ船



コンテナ荷役状況



コンテナ荷役状況



フラットラックコンテナ

※フラットラックコンテナ：天井や側壁を持たないコンテナ。コンテナに入りきらない大型の貨物をコンテナ船で輸送する際に利用される。

